

活動内容のご紹介

～ 令和5年10月10日（火）姫路市立網干小学校～

姫路市立網干小学校にて小学4年生約80名に向け防災教育出前講座を実施しました。（活動開始以来最大規模です！）

普段の実施時間は30～40分程度ですが、今回はなんと3時間分の授業時間を頂いたため、社員11名で模型による水災害の実演と防災クイズといった既設のメニューに加え、氾濫シミュレーション「オソレル」、水災害かるたといった新たなメニューを充実させて実施しました。

模型を使用した都市型水害再現では、水害には様々なパターンがある事を学んで頂きました。子どもたちは、津波や河川氾濫により家や車が押し流される様子に「わー！」と驚きながら興味津々に模型を見ていました。防災クイズでは、ハザードマップの読み取り方や水害に関する知識を学んで頂き、子ども同士話し合いながら元気に回答していました。（防災の日（9/1）を知っていたり、水害時はスニーカーで逃げる理由をしっかりと説明できたりと私たちが驚かされました…）オソレルでは、浸水後に避難すると徐々に歩きにくくなることや、水害時に街の景色が一変する事をゲーム感覚で楽しく学んで頂きました。水災害かるたでは、班ごとに最も大切だと思った取り札を選んで理由と共に発表して頂いたのですが、「日頃から備えておこう防災グッズ」や「真夜中にも襲って来るよ洪水は」など、様々な意見が挙がりました。

講座終了後に行ったアンケートでは、「水害が起きるとこんなに怖いんだ！と思った」や「オソレルで時間が経つと動きにくくなるのが分かった」、「最初はそんなに大げさな事じゃないでしょと思ったけど、今回の体験で危ないことが分かった」などの感想を頂きました。先生方からも、「ハザードマップを持ち帰ってお母さんと確認すると言っていた子が多数いた」と報告を頂き、水災害に対する知識の蓄積や防災意識の向上に微力ながら貢献できたかなと考えています。子どもたちが防災に興味を持って楽しそうに取り組む様子を見ることができ良かったです！引き続き積極的に活動を行いたいと思います。



楽しく有意義な時間
となりました！

